

目的

ふさみ丸は、主として本県の主要な漁業階層である沿岸小型漁船漁業の経営安定を図るため、以下の調査活動を行う多目的試験船として建造されました。

各種漁場調査

沿岸小型漁船が行う主要漁業であるカツオひきなわ漁業・カジキはえなわ漁業・イカ釣漁業・底魚釣漁業・サバ漁業を対象として水温・潮流調査や漁獲調査等を行い、漁場形成、資源状況、回遊状況等を把握する。

資源予測のための調査

本県の重要魚種であるサバ・イワシ等の卵稚仔の分布及び来遊資源量等の調査を行い、資源動向を把握する。

水域環境調査

外房及び内房海域の水深別水温・塩分・プランクトン・溶存酸素量・潮流等の環境観測を実施し、水域環境の把握及び赤潮等による漁業被害の防止を図る。

人工魚礁調査

より適正な魚礁設置に向けて海底地形、潮流、底質等の調査を実施する。また設置後の状況、効果等を把握するための調査を行う。



操舵室



海図区画



調査区画



食堂



賄所



副操舵所